

2024年 1月吉日

お客様各位エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ株式会社
東京セールスオフィス
マーケティング課チューブ・ボトル名称変更のお知らせ

平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
弊社では、ポリプロピレン製チューブ・ボトルの名称に「PP」、「PA」の2通りがあり、販売を行ってまいりましたが、2024年1月よりこの名称を「PP」に統一します。以下に詳細をご案内致します。

記

1. 背景

弊社の販売するチューブ・ボトルは名称に材質を示す略称を入れております。
その中で「PP」と「PA」のチューブ・ボトルは同系統の材料（ポリプロピレン製）ですが、「PA」には材料商品名の略称を使用し、これまで販売を行ってまいりました。弊社販売の「PA」とは「ポリアロマー」を指しております。一方、世界的に「PA」は「ポリアミド」(代表例: ナイロン)と認識されており、両者は完全に別材料です。つきましては、誤認識を避けるため、ポリプロピレン製チューブ・ボトルの名称を「PP」表記に統一します。

2. 変更内容

項目	変更後	変更前
ポリプロピレン製チューブ・ボトル名称	「PP」表記に統一	「PP」と「PA」の2種類の表記が存在

3. 注意および特記事項

- 変更は名称のみで、材質自体の変更はありません。
- 製品への表示、製品ラベル、データベース、取扱説明書、カタログなど順次変更を実施してまいります。変更の過渡期において、上記媒体に「PA」表記が記載されている場合があります。
この場合、「PA」を「PP」と読み替えてご使用ください。
- チューブ・ボトル名称変更に関する案内は、チューブ・ボトルに同梱されている「チューブ注意書」にも追加します。改訂版「チューブ注意書」は順次適用予定ですが、在庫品との関係で新旧混在する場合があります。(次頁参照)
- 「PA」チューブ・ボトルにつきましては、これまでオートクレーブ滅菌の条件を115°C、30分としておりましたが、今後は「PP」チューブ・ボトルと同条件(121°C、20分)でご使用になれます。

本件に関するお問い合わせは、弊社HP (<https://www.himac-science.jp>)、または、フリーダイヤル(0120-024-125 ※土・日・祝日・弊社休業日を除く: 9:00~12:00、13:00~17:00)、各セールスオフィスまでお願い致します。

(次頁へ続く)

エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ株式会社 営業部

□東京セールスオフィス

東京都千代田区東神田二丁目5番12号 龍角散ビル3F
TEL 03-5829-3612

□中部セールスオフィス

愛知県名古屋市中村区名駅2-28-9 名駅プライムビル4F
TEL 052-433-3081

□九州セールスオフィス

福岡県福岡市博多区堅粕4-1-37 博多三弘ビル1F
TEL 092-482-8109

□北海道セールスオフィス

北海道札幌市北区北二十三条西6-2-2
TEL 011-299-8109

□関西セールスオフィス

大阪府大阪市東淀川区東中島1-19-4 ルーシッドスクエア新大阪12F
TEL 06-6795-9200

(前頁からの続き)

(参考) 改訂版「チューブ注意書」和文見本

ご使用の手引き

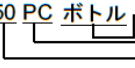
この手引は一般的なチューブの使用法を表したものです。詳細につきましては、ロータの取扱説明書をご覧ください。

注意事項


- 蓋を使用するボトル・チューブでもOリングが無い場合は、逆さにしたり、振ったりすると試料が漏れる場合があります。
- PC チューブ・ボトルはアルカリ溶液に弱いので、洗浄の際には必ず pH5~6 の中性洗剤を使用してください。
- PC はオートクレーブ滅菌が可能です。寿命が低下します。
- PET チューブは使い捨てです。


△注意: 寿命に達したチューブ・ボトルは使用しないでください。回転中にチューブ・ボトルが破損し、ロータや遠心機の損傷を引き起こす恐れがあります。チューブ・ボトルの寿命は、使用する試料の性質、使用するロータの回転速度、温度など使用する条件により左右されます。使用前にチューブ・ボトルが変形していないか傷やひびが入っていないか等をよく確認し、異常が認められる場合は使用しないでください。


チューブの名称


例 **50 PC ボトル** 形状を表します。下記をご覧ください。

 材質を表します。下記をご覧ください。
 呼称容量(mL)を表します。

チューブの形状と材質


チューブ


アツチューブ


ボトル


シールチューブ

チューブの表面にたて縞模様が見られる場合がありますが、このような表面状態であってもチューブの性能には影響はありません。
 PC: ポリカーボネート PET: ポリエチレンテレフタレート
 PE: ポリエチレン SST: ステンレス
 PP: ポリプロピレン

洗浄と滅菌

チューブ・ボトルは水道水または中性洗剤の希釈液で汚れを落とします。洗浄後、蒸留水ですすぎ、空気中で乾燥させてください。
 PC、PP、SST は 121°C、20 分でオートクレーブ滅菌が可能です。オートクレーブ滅菌の際は、チューブスタンドなどにチューブ・ボトルを立てておこなってください。また、ボトルは変形、破裂を防ぐためキャップを外してください。滅菌後は滅菌槽が室温まで下がってからチューブ・ボトルを取り出してください。PE、PET はオートクレーブ滅菌できません。PE、PET の滅菌は70%エタノールをご使用ください。ガス滅菌、薬液滅菌については、ロータに付属の耐薬品性一覧表を参考におこなってください。

組合せと回転速度

チューブ・ボトルはロータ、アダプタ、キャップとの組み合わせが決められており、その組合せや試料の密度などの条件によって回転速度が制限されます。誤った組合せや、制限された回転速度を超えて使用すると、変形、クラック、液もれの原因となります。ご使用前にロータの取扱説明書をご確認ください。

液量

各種チューブ・ボトルの液量については、ロータの取扱説明書をご参照ください。使用する条件によっては最低限の液量が決まっている場合があります。

耐薬品性

チューブ・ボトルの材質によって耐薬品性は異なります。ロータの取扱説明書またはロータに付属している耐薬品性一覧表をご参照ください。

保存

チューブ・ボトルは常温で保管してください。高温多湿な場所、紫外線や薬品の蒸気のおそれのある場所は避けてください。ご不明な点は、遠心機取扱説明書の裏表紙に記載の遠心機お客様相談センターまたは当社のサービス担当にお問い合わせください。改良のため予告なく、材料、形状、外観を変更することがあります。

材質名称の変更のお知らせ

この度、下記の如く材質名称の変更を行いました。

PA (ポリプロピレンコポリマー) → PP (ポリプロピレン)

名称が変更になりましたが、材質に変更はありません。

名称に「PA」がつくチューブ及びボトルは、滅菌法及び耐薬品性については、PP(ポリプロピレン)の条件でご使用になれます。

材質名称変更にあたり、製品、製品ラベル、取扱説明書等に「PA」が記載されている場合がございます。

この場合は「PA」を「PP」と読み替えてご使用ください。

エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ株式会社

2024.01
S99870307

以上

エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ株式会社 営業部

□ 東京セールスオフィス

東京都千代田区東神田二丁目5番12号 龍角散ビル3F
TEL 03-5829-3612

□ 中部セールスオフィス

愛知県名古屋市中村区名駅2-28-9 名駅プライトビル4F
TEL 052-433-3081

□ 九州セールスオフィス

福岡県福岡市博多区堅粕4-1-37 博多三弘ビル1F
TEL 092-482-8109

□ 北海道セールスオフィス

北海道札幌市北区北二十三条西6-2-2
TEL 011-299-8109

□ 関西セールスオフィス

大阪府大阪市東淀川区東中島1-19-4 ルーシッドスクエア新大阪12F
TEL 06-6795-9200

(2/2)

www.eppendorf.com